

セミオ トラブルシューティング

トラブルの状況	チェック	処置方法
ガスが出ない	上流側のバルブのチェック	バルブが閉じていれば開けて下さい。A、B両系列のバルブを開けて使用して下さい。
両方の系列から同時にガスが流れる。	使用流量が機器の標準流量を超えていないかのチェック	使用流量を機器の標準流量以下にする。
	上流側で流量が絞られていないかチェック（バルブの開度が少ない。配管が細い。）	バルブを全開にして下さい。配管を流量にあったものにして下さい。
	セミオ入口フィルタ及び上流側のフィルタの目詰まりのチェック	フィルタ目詰まりの場合、フィルタの掃除・フィルタの交換を行って下さい。セミオ入口フィルタが目詰まりしている場合は、メーカーに修理依頼して下さい。
	上流側のガス供給量は充分かチェック	供給不足の場合は、容器本数を多くするなど、ガス供給量を多くする処置を行って下さい。
	上記をチェックして問題無い場合は、設定圧力不良が考えられます。	販売店に修理依頼して下さい。
ポンペを交換しても、再度交換したほうのポンペからガスが流れる。	切替レバーが交換するポンペの反対側に倒れているかチェックして下さい。	ポンペを交換する前に、切替レバーをポンペ交換する反対側（現在の供給側）に倒して下さい。
	設定圧力不足	販売店に修理依頼して下さい。
ポンペ交換時にガスが逆流する。	一瞬ガスが逆流し、その後逆流がとまるかチェック。	正常
	逆流し続けるかチェック。	販売店に修理依頼して下さい。
安全弁からガスが洩れる。	出流れの発生。 安全弁設定圧力不良 切替圧力不良	販売店に修理依頼して下さい。
継手、その他からのガスが洩れる。	ネジのゆるみ	内部のガスを抜いて増し締めをして下さい。
	パッキンの収縮・劣化がないかチェック	パッキン、シールテープの交換を行って下さい。
圧力計の指針がゼロに戻らない。圧力計の指針がおかしい。	配管上の圧力計であれば、比較チェック 圧力計の外観チェック	圧力計の故障が明らかであれば、圧力計を校正に出して下さい。 圧力計を交換して下さい。
圧力計の指針が激しく振れ異音がある。(バイブレーション)	機器の下流側のバルブを急激に開いていないかチェック。	バルブは、ゆっくり開くようにして下さい。
	ガスの放出量が、仕様流量より多くないかチェック。	機器の能力以内で使用するようにして下さい。
	ヘリウム、水素等の軽いガスは発生しやすいため、専用の機器かチェック。(TN-200シリーズ)	専用の機器でなければ、専用の機器に交換して下さい。(一度バイブレーションを発生させると放出量を少なくしてもなおらない場合があります。部品の交換が必要です。)

- 01 一般工業用圧力調整器
- 02 分析機用・半導体用圧力調整器
- 03 ガス供給ユニット・集合装置
- 04 ガス供給ユニット・集合装置関連機器
- 05 その他装置
- 06 液化ガス蒸発器
- 07 自動切替減圧弁・装置
- 08 高圧ガス用継手
- 09 溶断器・アクセサリ
- 10 計器

11 参考資料・データ

- 集合装置の規模の設定機器の選定
- 管の寸法
- 圧力単位換算表
- 可燃性ガスの発熱量
- 燃焼における理論酸素量または理論空気量
- 圧力調整器の取扱い注意事項
- ガス別圧力調整器取扱い注意事項
- 圧力調整器
- トラブルシューティング
- ヒーター付減圧弁・加温器電気回り
- トラブルシューティング
- セミオ
- トラブルシューティング
- 逆火の原因と対策
- 認定品とは・認定事業のご案内
- 高圧ガス保安法
- 材質記号
- 調整器サポート
- 寸法一覧
- 総合カタログ
- 新旧型番対応表
- 廃止商品(生産終了商品)
- ポンペ取付継手(海外規格)
- ガス資料
- ヤマト産業
- 商品の歴史
- 形式別INDEX
- 50音字INDEX
- FAXお問合せシート